

令和5年第3回錦江町議会定例会一般質問

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
池田行徳	国体に向けて自転車ロードレースにおけるコースの準備と、旧大原中跡地、照葉樹ビジターセンター公園施設の活用について	<p>1. 10月に行われる国体での自転車ロードレースにおける安全対策や沿道の景観などの準備は万全であるか。</p> <p>2. 旧大原中跡地については、現在どのような活用方法を考えているのか。その一つとしてサイクリングチームの合宿場所として活用する考えはないか。</p> <p>3. 本町開催のロードレースを機に錦江町をサイクリングの町として整備、売り出す考えはないか。</p> <p>4. 照葉樹ビジターセンターの公園施設をキャンプ場や子供用自転車の遊び場、またサイクリングの基地として、センターに協力して観光推進してゆく考えはないか。</p>	<p>教 育 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
	防災、減災対策について	<p>1. 台風や大雨による災害防止の為、側溝のつまりの解除や、大きさ、また、農地造成の際は、土手の傾斜に基準を設けるなど検討する考えはないか。</p> <p>2. 川原、平石、鶴園、半下石、壱崎の川の増水に対する今後の対応をどうするのか。また、下自治会の民家への流水及び付近の側溝の排水対策を再度、県に要望できないか。</p>	町 長
川越裕子	全国学力テストの結果と課題について	<p>4月に実施された小6、中3を対象とした全国学力テストの結果が公表されたが</p> <p>1. 本町の結果をふまえ、改善点や課題等検討されたか</p> <p>2. 児童生徒を対象とするイングリッシュ・デイ・キャンプや町内幼稚園、保育園での英語教室の実施状況について</p> <p>3. 英会話に特化した公営塾を検討する考えはないか</p>	<p>教 育 長</p> <p>町 長</p>
	小学校統合について	<p>前回の一般質問での回答として、まちづくり懇談会で地域の意見を伺い進めていきたい、本年9月ぐらいを目途に方向性を出したいということであったが</p> <p>1. どのような意見や提案がなされたか</p> <p>2. 町長の方針を伺う</p>	町 長
浪瀬亮祐	錦江町荒茶加工施設の今後について	<p>荒茶加工施設を令和5年4月1日から1年間、大根占茶生産組合へ指定管理しているが、本年度約4,500万円を投入して屋根改修工事を行うが、工事終了後は施設を指定管理にするのか、また、売却する考えなのか伺いたい。</p>	町 長

	小中一貫校について	全国的な少子化の影響により児童生徒が減少し学校統合が進んでいる。統合しても児童生徒数が増える見込みがない地域においては全国でも小中一貫校が増えてきており、本町においても縦の統合も必要と思うが、小学校統合と同時に小中一貫校にする考えはないか伺いたい。	町	長
久保勇太	田代地区山村振興計画に関して	<ol style="list-style-type: none"> 1. 先の台風6号における田代地区の被災状況はどうなっているか。 2. 本町が合併して以降、田代地区における山村振興計画が策定されていないと伺っているが、現在の田代地区における山村振興計画の策定状況はどうなっているか。 3. 先の台風6号で田代地区の多くの被災現場を拝見させて頂いたが、用水路等の設計や設備が古く、昨今の頻発している災害に耐えうる仕様でないものも見受けられる。他方、担い手が著しく減少し、地域によっては、数ヘクタールの水田を数人で耕作しているなど、人口減少、担い手不足の実情に応じた農地の再編が求められるような状況でもある。他方、2030年に予定されている大隅縦貫道の開通という外的要因を考慮すると、農地の集積化、大規模化は今後の地域農業の維持発展という観点からは合理的であるという意見を地域の方々より頂いている。これらの現状を踏まえ、田代地域においては、災害に強い合理化された大規模圃場を整備するよう、山村振興計画に盛り込むことは考えられないか。 	町	長
	人口急減地域における地域活性化対策に関して	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総務省の2022年10月1日時点の人口推計によると、前年の出生児数は79万9,000人、死亡者数は153万人で、日本人の人口は1億2203万1,000人となっている。自然増減は73万1千人の減少で、比較可能な1950年以降で最大の落ち込みとなっており、東京を除く全国で減少するなど歯止めの利かない状況となっている。本町でも平成17年の合併当時では人口が10,015人を数えたものの、本年8月1日時点では人口は6,471人となっており、合併当時から3,544人、率にして35.4%もの減少となっている。本町としては、この現状をどのように捉えているか。 2. 錦江町人口ビジョンによると、2025年には6,385人、2030年には5,715人、2040年には4,599人、2050年には3,599人になると推計されているが、この予測を上回る勢いで人口減少が進んでいくこ 	町	長

		<p>とも考えられる。特に田代地域をはじめ、池田や宿利原などの中山間部の減少率は著しく、田畑の維持管理や集落機能の維持に大変苦勞される実態を伺っている。本町としては、このような人口急減地域である中山間地域に対して、どのような振興策を講じていく考えか。</p> <p>3. 農村RMO形成は、上述したような田代地域をはじめ、池田や宿利原などの中山間地域の維持発展に向けた取り組みを包括的に支援する農水省の事業である。本町として農村RMO形成に向けて取り組む考えはないか。</p>	
	<p>医師会立病院の再整備に関して</p>	<p>1. 6月議会において、当整備計画と同様に整備費用を全て自治体が負担し、事業運営主体に補助金として交付し、民間病院として運営されている事例はないとの回答であったが、先行事例がない中で、何を指針として事業を推進し、どのようにして病院経営の健全性を担保していく考えか。また、年間の償還額は約1.4億円となり、そのうち七割が地方交付税措置となるので、実質的な町の負担額は年間約4千万円となるとの答弁を頂いたが、町の負担額約4千万円に関しては、基金を取り崩して調達するのか、それとも一般財源を充当していく形になるのか。</p> <p>2. 町内外の医療・介護関係の複数の経営者や関係者から、本事業の運営体制や当病院の中長期的な運営見通しに関してもっとシビアな検討が必要ではないかのご意見を頂いている。現段階での当病院の来院患者並びに入院患者の年齢構成並びに10年後、20年後、30年後の来院患者並びに入院患者の年齢構成の推移を示されたい。</p> <p>3. 最大の懸念点は、10年後、20年後、30年後の南隅地域の人口構成ではなく、新設される当病院を今の20代、30代、40代が今後継続的に利用し続けるのかという点にある。この世代はデジタルネイティブ世代でもあり、条件の良い医療機関に関しては、主にネットを通じて検索し、条件の合う町内外の様々な医療サービスを受診していくことも考えられる。経営の根底は入りを最大化し出を最小化することが基本であるが、事業計画を立てる際は真逆の入りを最小水準に、出を最大水準に検討することが要諦である。当事業における事業計画は今後起こりうる様々なシナリオにおいて感度分析を行い、その最適解に基づいて計画され</p>	<p>町 長</p>

		たものであるという認識で問題ないか。根拠と併せて示されたい。		
久本晃	健康促進の取り組み	<p>1. 一般的な寿命と別に健康寿命と言われるものがある。健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されている。人口減少や高齢化が進む中、新たな取り組みや持続可能な社会を形成する為には平均寿命と健康寿命の差を縮める必要があると感じる。健康寿命を延ばす取り組みのひとつとして運動がある。</p> <p>運動習慣のまったくない人が運動始めるには動機づけや始めやすい環境が必要だと感じる。気軽に始められる運動の中にウォーキングやランニングがある。現在、錦江町にはウォーキングコースを設けているが、街灯が少ない区間もある。コースの改善や街灯整備等、安全にウォーキングやランニングが行える環境作りに取り組む考えはあるか。</p> <p>2. 現在行われている生涯学習の中にもいくつか運動分野の教室がある。しかし、時間やタイミング等で講座への参加を見送った人もいるように感じる。運動するきっかけ作りの一環として町内で運動やスポーツの指導できる人、習いたい人を取りまとめ、個人の取り組みやチーム活動、ワークショップ等へ繋げやすくする取り組みは考えられないか。</p> <p>3. 運動・スポーツで利用される町内の施設管理や運営に対し、要望や相談、問題等はないか。</p> <p>4. 健康保険課でコンディショニング教室を行っているが、利用率や運営状況はどうか。</p> <p>5. トレーニングルームの利用について要望や相談等はないか。また利用状況はどうか。</p>	町	長
			教	育
			教	育
			町	長
				〃
厚ケ瀬 博文	関西の町人会との交流促進について	<p>1. 今後の町人会との交流はどうなってゆくのか。</p> <p>2. 関西の町人会での販売品は、大根占の海産物が主であるが、田代産の品目も増やす考えはないか。</p> <p>3. 交流人口促進のために、錦江町を会場とした町人会との交流会はできないか。</p>	町	長
	サツマイモ栽培農家への支援策について	<p>1. 台風や長雨に見舞われたが、現在の生育状況は。</p> <p>2. 県や町からの支援策の効果は表れているか。また、今後も新たな支援策を考えているのか。</p> <p>3. 共同研究中の堆肥の試供や研修費の一部を助成する考えはあるのか。</p>	町	長

落司道子	自治会のあり方について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自治会運営が難しくなる中で、これまで自治会からどのような相談等があったか。 2. 自治会への加入世帯が減少していく中で、未加入世帯もみられる。未加入世帯に対し、加入促進の取組みも含め、どのような対応をしているのか。 3. 地域担当者制度の現状は。今後のあり方についてどのように考えているのか。 4. 総務省の集落支援員制度の活用について、どのように考えているのか。 	町長
------	-------------	--	----